【No.R7-33-2】 みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系加速化事業

産地戦略

実施期間　令和８～12年度

実施主体　岡山県
都道府県　岡山県
対象地域　勝央町
対象品目　ぶどう

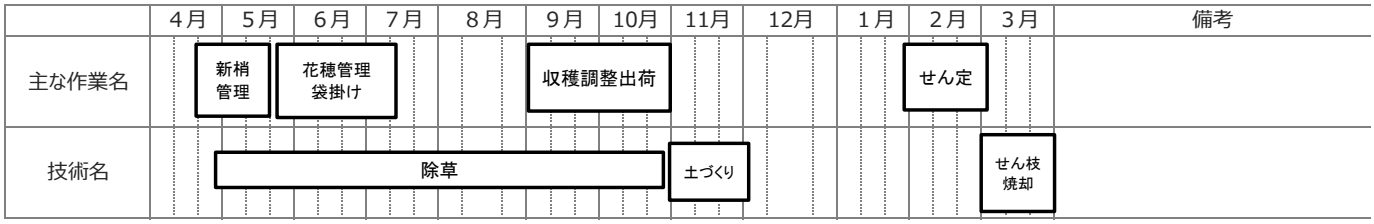
新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	● 温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

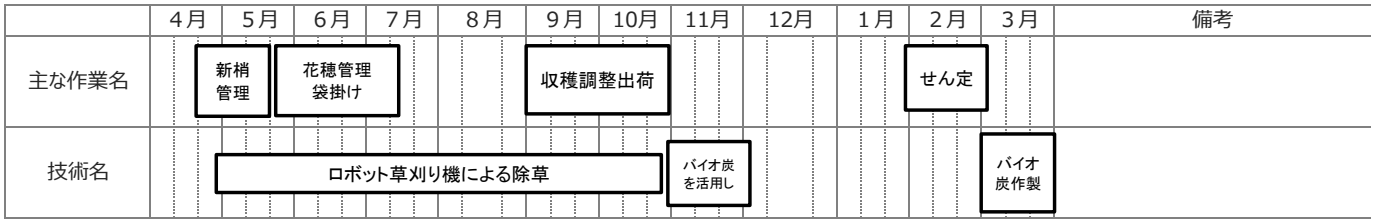
せん定枝を活用したバイオ炭を使い、炭素固定による環境負荷低減を図る。
ロボット草刈り機導入による除草の省力化を図る。
産地の魅力を高めて、担い手確保に資する。

現在の栽培体系



▼

グリーンな栽培体系



グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7		目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	**18.6**	▶	**19.4**	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	**0.6**	▶	**1**	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	**1**	▶	**1.5**	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	**1**	▶	**1.5**	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行		新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	剪定枝を焼却処分	▶	剪定枝を利用したバイオ炭作成とその土壌施用	温室効果ガス(二酸化炭素)発生量の削減
省力	乗用草刈機、刈り払い機、除草剤による除草	▶	ロボット草刈機による除草作業の自動化	除草作業時間の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状		目指すべき水準	備考
省力	10aあたりの年間除草時間	**7.4時間**	▶	**3.7時間**	検証結果を基に設定

＊環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する
（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
＊化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

講習会、部会総会で積極的な取り組みを推進する。

関係者の役割

関係者名	勝英農業普及指導センター	勝央町ぶどう部会	ＪＡ晴れの国岡山勝央アグリセンター	
役割	・取組目標達成に向けた進行管理 ・マニュアルを活用した技術普及	・取組目標達成に向けた部会活動 ・取り組み事例の共有と情報交換	・取組目標達成に向けた部会活動支援 ・技術マニュアルの印刷配布	